

南陽市自分ごと化会議 2025 第 2 回改善提案シートまとめ

カテゴリー：ごみの減量について

| 目指す姿 | | |
|---------------------|--------------|---|
| 現状 | | 南陽市の令和 5 年度家庭系 1 人 1 日当たりのごみの排出量は 515 g であり、置賜地域 3 市 5 町の中でワースト 1 位。山形県平均 512 g、全国平均 475 g と比較しても、南陽市のごみの排出量が多い。 |
| 実現に向けて できる こと | 個人 | <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの水分を絞って量を少なくする。 ・生ごみとそれ以外のごみと分けておく。 ・必要のないものは購入しない。 ・使い切れる分だけ購入する。 |
| | 地域 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ箱を設置する。 |
| | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・南陽市のごみ処理の現状を住民に対して市報や SNS 等で周知する。 ・地元企業と協働で仕組みを作る。 |
| | その他 (民間等) | <ul style="list-style-type: none"> ・過剰包装・過剰提供を避け、簡易的な梱包にする。 |

カテゴリー：ごみの分別・リサイクル率について

| 目指す姿 | | |
|---------------------|--------------|---|
| 現状 | | 分別方法を理解している住民が少なく、分別すべきごみも可燃ごみとして捨てている現状がある。それに伴い、南陽市のリサイクル率は 8.8% と、山形県平均 13.4%、全国平均 19.5% に比べて顕著に低い。 |
| 実現に向けて できる こと | 個人 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの種類を分けて置く。 ・リサイクルできないか、1 度よく考えてから捨てる。 |
| | 地域 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館で回収する等、地域が主体になって取り組む。 |
| | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まですべての世代が理解できるようなごみの分け方のポスターなどを一家に 1 枚渡す。 ・過去の市報を回収してリサイクルする。 ・ごみの袋に絵や写真を印刷する。 |
| | その他 (民間等) | <ul style="list-style-type: none"> ・企業広告等で周知に協力してもらう。 |

カテゴリー：食品ロスについて

| 目指す姿 | | |
|--------|----|--|
| 現状 | | 可燃ごみの約 3 割が食品系廃棄物。多くの家庭で、買いすぎて調理する前に傷んでしまったり、賞味期限や消費期限が切れてしまって捨ててしまったりすることがある。また、地域特性として、おもてなし料理やいただき物等の廃棄処分が多い。 |
| 実現に向けて | 個人 | <ul style="list-style-type: none"> ・普段奥にしまいがちないいただき物（普段使っていない調味料やレトルト食品）を常に目に付くところに置く。 |

| | | |
|-----------|--------------|--|
| できる こと | | <ul style="list-style-type: none"> ・食べきれる量・必要な分だけを購入する。 ・食べれないものをフードドライブできるように早めに食品棚の整理をする。 |
| | 地域 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域間で食品を融通する。 |
| | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ用の回収BOXを設置する。 ・食品ロス問題を広く周知する。 ・商店等の活性化につながるような取り組みをする。 ・どの種類の廃棄が多いのか、スーパー等での食品廃棄の現状を調査し、データを収集する。 |
| | その他 (民間等) | <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ等のイベントを開催する。 ・必要な分だけ販売する。 |